

アルコールパッチテスト

の報告

協力・保健センター理工学部分室

後楽園キャンパスで行ったアルコールパッチテストの結果を報告します。
昼休みの時間を利用して、わずか1時間ではありましたが、なかなか盛況でした。
もって生まれた体質を知って、上手に賢くアルコールと付き合う工夫をしましょう。

日 時 2003年5月30日(金) 11:50~12:50
場 所 後楽園キャンパス6号館1階ロビー
受 付 者 264名
判 定 者 159名 (自己判定者: 105名)

<判定者 159名のアンケート集計>

・判定前の自己判断:

「少しは受け付けるタイプ」	32.1%
「受け付けないタイプ」	25.8%
「わからない」	21.4%
「無回答」	20.8%

・判定者の内訳

赤: 全然アルコールを受付けないタイプ	(約12%)
黄: 受け付けないタイプ	(約17%)
緑: 少しは受け付けるタイプ	(約70%)

・判定前のアンケートによる自己判断と判定後の関連性:

- ①判定前のアンケートで「少しは受け付けるタイプ」と答えた
92.2%が「少しは受け付けるタイプ」と判定された
- ②判定前のアンケートで「受け付けないタイプ」と答えた
36.6%が「全然アルコールを受け付けないタイプ」と判定され、
34.1%が「受け付けないタイプ」と判定された
- ③判定前のアンケートで「わからない」と答えた
79.4%が「少しは受け付けるタイプ」と判定された
- ④判定前のアンケートで「無回答」で答えた
77.8%が「少しは受け付けるタイプ」と判定された

理工学部学生生活課
学生相談室

相談室の窓

ティーアワー

Let's Enjoy Campus Life

「カウンセリングと人間関係」

—気づきと自分探し—

「コラージュ」で、自分を見つけよう！

日時 11月14日（金）16：10～17：30
場所 理工学部 新3号館1階D・E会議室
講師 奥田良子（嘱託心理カウンセラー）
申込方法 理工学部学生相談室
1号館1階1110号室
☎（03-3817-1724）

目的 カウンセリングとは、ごく普通の問題や転機に対する援助・助言であると理解していいと思います。カウンセリングと一口に言っても様々な領域がありますが、今回は「コラージュ」という技法を通して自分を振り返り、見つめ、表現することにより、今の自分を探し出そうという試みです。作品を見ながら講師の講評を聞くことにより、今まで見えなかった思いも寄らない自分を見つけることになるかもしれません。客観的に自分を見つめることにより、豊かな人間関係を築くきっかけを掴んでみましょう。ティータイムを取りながら、ソフトな雰囲気で行われます。気分転換にもよいので気軽に参加して下さい。

「コラージュ」とは

コラージュとは、写真や絵、文字などを、新聞や雑誌から切り抜き、台紙の上に自由に貼って1つの作品を作ります。その作品が、即ち、その人自身を表しています。自分なりに素直に作ることで、その時の自分の気持ちを知ることができます。

理工学部
学生生活課
学生相談室

教養講座

総合テーマ：【理系学習基礎講座】

教養講座は総合テーマに基づいて、講師の先生方々のご専門の立場からお話をさせていただきます。

理系で学ぶみなさまの学習支援プログラムとして、今回は外国語・レポート・数学を取り上げて

みました。より有効なアプローチをしたいと考えている方、またそれらに苦戦している方には、きっと役に立つヒントが得られるのではないかと思います。

コーヒー・ブレイクもしながら、日頃はなかなかお話の聞けない先生方と膝を交えてくつろいだ懇談の一時を味わえる絶好のチャンスです。

気軽にご参加ください。

第1講

テーマ：『外国語を学ぶうまい方法？』

講師：渡辺 福 實 先生（理工学部教授・英語）

日時：11月11日（火）17：30～19：00（6・夜1時限）

場所：後楽園キャンパス 新3号館1階A・B・C会議室

「外国語を学ぶうまい方法だって？そんなものがあつたら私に教えてほしい」と同僚たち（語学の！）は一斉に反応する（かくいう私自身もそうだった）。

語学教材・語学学校ビジネスと誇大広告がちまたにはびこり、経済界その他各界の名士たちは今のままの英語教育では国家が滅びるといい、飲み屋でまで英語教育論が戦われる今日である。一番の被害者は小学生から大学生までの無防備な若い魂ではないか。教室には役に立たない英語を教えられているという不審と恨みの念が満ちている。こんな面倒な苦勞をしないですむうまい方法がどこかにあるに違いないと。

こういった世間の批判はどれも、全くの見当違いではないにせよ問題の一面を誇大に言い立てているにすぎないようである。そこでこの講座ではこういった論争を一つ一つ検証する前に先ず初心に立ち返って、これまで日本人は外国語をどんな必要で、どんなふうに学んできたか、語学の達人と云われている人たちはどんなふうに学んだのかについて語り、それと比較して、君たちはどう学んできたか、僕はどう学んできたかなどを一緒にあれこれと賑やかにおしゃべりすることから始めたい。そこから、ほんとうの「外国語を学ぶうまい方法」を導き出していくつもりである。そのほか、もちろん、さまざまな問題、たとえば各種語学試験についてとか留学についてとか中大理工学部の語学のカリキュラムについてなどに関する質問にも可能な限り答えるつもりである。積極的な参加を期待します。

第2講

テーマ：『理系数学に馴染むコツ！』

講師：村松壽延（理工学部教授・実解析学）

日時：11月12日（水）16：05～17：25（5時限）

場所：後楽園キャンパス 新3号館1階A・B・C会議室

小学校の算数、中学・高校と学んでいるので、数学にはかなりなじんでいると思われます。なかには数学が得意の科目のひとつだった諸君もいるでしょう。

けれども、わたくしの経験によると、大学の数学はどれも分かり難いという学生が相当います。どうしたら大学の数学になじむことができるか考えて見ましょう。大学の数学が分からない、面白くないという場合にまず考えなければならないのは、高校までの数学と大学での数学の違いです。受験などもからんで、高校までではどうしても問題を解くことに重点が置かれ勝ちです。数学を学ぶ目的には、学問として学ぶことと応用するためとが

あります。数学科以外の学生は応用を主要な目的としていますが、数学をうまく運用するためには、単に公式を端から記憶するのではなく、数学の概念を理解する必要があります。また、概念がつかめないと、勉強するのが楽しくないでしょう。

概念を深く分かるためにはじっくりと十分時間をかけて勉強するしかないともいえますが、外に学ぶことも多く時間を数学にそうたくさんはかけられないこともあります。そのときはどうしたらよいでしょうか。

わたくしの考えを述べます。参加の諸君の意見も聞きたいと思います。

第3講

テーマ：『理系レポートのコツ！』

講師：浅野孝夫先生（理工学部教授・ネットワーク理論）

日時：11月18日（火）16：05～17：25（5時限）

場所：後樂園キャンパス 新3号館1階A・B・C会議室

マルチメディアの教育機器を介して、最先端の科学技術を体験できるような講義が増えてきています。これは学生にとっても先生にとってもとてもよい状況なのですが、一方、従来の黒板と教科書・プリントによる講義とことなり、講義の内容を的確にノートにまとめてとることが、極めて困難にもなっております。レポートにかんしましても、マルチメディアによるイメージのみが優先して理系にとってもっとも大切な論理的思考と独創的な思考が軽視され、文章的には極めて劣悪なものが増えてきております。知識を確実にし将来でも復元のできる個人のメモとしてのノートと、他人にでも客観的に容易に理解して判断してもらうことのできるように書くレポートの違いに焦点をあてて、上記のテーマで意見を交換し、より楽しく理系で学ぶコツを考えてみたいと思います。

申込：聴講希望者は、直接理工学部学生相談室へお申込ください。
(全3講、連続参加・単独参加どちらでも受け付けます。)

後樂園キャンパス 1号館1110号室

☎03-3817-1724

(聴講無料)